

## 第10回:より速く、より高く、より強く

北京オリンピックが8月24日に無事終了した。高度成長をひた走り絶好調にみえた中国を、今年に入り大きな事故や事件や災害が見舞い、開催を危ぶむ海外の声もあったようだが、超弩級のスケールで華やかに開幕した大会は、17日間の期間中にさまざまな名勝負やドラマを残し、全日程を終えた。口パク事件や過剰警備等が指摘されているようだが、許容範囲内と理解すべきだろう。

さて、筆者は開催日前日(8月7日)の本コラムにおいて、開会式の予想を述べたが、結果はどうであったか?簡単に結果を記す。

## 開催時間

これは予想通り8月8日午後8時ちょうどであった。ラッキーナンバーの「8」に、とことんこだわり、8時8分スタートという説もあったが、なんと米国がこのアイデアを採用した。当日の午前8時8分、在北京米国大使館において、新旧ブッシュ大統領、キッシンジャー博士等を迎え、新・米国大使館の落成式が開催されたのはご愛嬌であった。

「アジアの巨人」[姚明](#) バスケットボール

聖火ランナーに続き、開会式では中国選手団の旗手を務め、229cmの巨躯で存在感を内外に大きくアピールした。ベスト4入りはならなかったが、中国チームの大黒柱としても大いに活躍した。

「飛水皇后」[郭晶晶](#) 飛び込み

飛び込み2種目の連覇が達成できるか注目されたが、勝負は彼女の圧勝に終わり、中国のオリンピック史に名を残すことになった。表彰式では彼女の恋人の父である霍震霆氏(香港オリンピック委員会会長)より金メダルを授与され、彼女にとっては正に「錦上添花を添える」表彰式であっただろう。天性の美貌に恵まれモデルとしても活躍しており、ロサンゼルスオリンピックの英雄である李寧のように自己ブランド企業を立ち上げるという噂もある。

「黄金の昇龍」[劉翔](#) 110メートルハードル

本来、北京は「劉翔のオリンピック」であるはずだった。そのためのお膳立ても整っていた。ところが彼は予選に登場したものの、アキレス腱を痛め、一度もハードルを飛び越えることなく悄然とトラックを去った。「13億人の象徴」とまで賞賛され、全国の期待を一身に背負ってきただけに、彼のリタイアは全国に衝撃を与えた。「勝てば官軍、負ければ賊軍」のお国において、人民の落胆は怒りに変わり、きのうまで「昇り龍の劉」だったのだが、ネット上で「トンズラの劉」といった中傷も飛び交った。「捲土重来」を期す彼

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

には、暫く辛い「臥薪嘗胆」の日々が続くだろう。

「ロサンゼルス五輪の英雄」**李寧** 体操

84年ロサンゼルスオリンピックで金メダル3枚を含め6枚のメダルを獲得した李寧は中国の英雄であると同時に、チャイナドリームの実現者でもある。引退後に彼が起業した会社は、いまや香港上場のスポーツ用品大手の李寧グループ(Li-Ning, 02331.HK)として07年売上総額で約44億円の規模を誇り、急成長を続けている。その彼が、「鳥の巣」会場において、**許海峰**(射撃・男) **高敏**(飛び込み・女) **李小双**(体操・男) **占旭剛**(重量挙げ・男) **張軍**(バドミントン・男) **陳中**(テコンドー・女) **孫晋芳**(バレーボール・女)という過去の金メダリストより最後の聖火を受け継ぎ、ワイヤーに吊り上げられ、地上60メートルの高さを飛び、聖火台に点火する大役を担当するとは驚いた。確かに、こんな恐ろしい曲芸が普通の人間にできるわけではないが、企業(しかもスポーツ用品)のPR活動ともとられかねないイベントがオリンピックで許されるのか、今でも不思議に思う。

巨龍と鳳凰の出番は？

(ネットを中心に根強く噂されていた)開会式に龍と鳳凰が登場し火を吹き、聖火に点火するというアイデアは、張藝謀監督の採用するところとはならなかった。「鳥の巣」は「鳳凰の巣」ではなかったようだ。この2つの神獣は漢民族のシンボルであり、中国政府は少数民族に配慮したのかもしれない。「牽強附会」と謗られるかもしれないが、閉会式の最後にジャッキー・チェン(**成龍**)がボランティア代表として登場したので、これで巨龍が登場したことにしよう。

さて、祭りは終わった。次の競技は胡錦濤選手と温家宝選手の「胡温ペア」が経済を軌道に戻す種目だ。これまでの中国の高度成長は好調な世界経済に支えられてきた側面が強い。ところが、昨今の欧米を中心とする世界経済の減速が、中国の輸出産業を直撃し、金融引き締めや原材料価格の上昇が更なる重石として企業業績に影響を与え始めている。

これに対し、中国政府は既に「景気過熱防止」から「安定成長の維持」に舵取りを転換させており、上海市や広東省等の現場でも、投資認可の簡素化、減税、土地管理政策等の具体的な景気刺激策に乗り出すという。インフレ加速の懸念を横目で睨みながらの難しい経済運営を求められているが、まずは経済の活性化が先決である。

経済領域の諸問題は政府の政策変更のみで一気に解決できるものではないが、北京五輪においてわれわれが目撃した凄まじいエネルギーは、中国経済の潮目を変えるに十分なものがあるだろう。いまこそ、オリンピック憲章のモットー「より速く、より高く、より強く」を発揮するときだ。(了)

平成20年9月2日

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。